

北上市 BRAND BOOK

TSUNAGARU KITAKAMI



北上市 BRAND BOOK

TSUNAGARU KITAKAMI

発行元 北上市 都市プロモーション課

〒024-0095 岩手県北上市芳町1-1

電話:0197-64-2111(代表) FAX:0197-63-7023

取材協力 岡島親吾、相原彩子、高橋忠男、

岩下佳子、小原伶奈、日角孝治、小澤政行(きたかみ仕事人図鑑)

表紙撮影地 展勝地公園

発行 2019年10月



北上市公式ホームページ

出会いをつなぐまち北上



ひとが結ぶ ひとが育む 出会いのまち

まちと出会い、ひとと出会い、
その出会いが次の出会いを生み、
新しい可能性を育んでいく。
誰にでもオープンな北上というまちは、
様々な出会いをつなぎ、生み出すまち。

出会いをつなぐまち北上



<北上市都市ブランドメッセージ>

KitaComing! 北上市

やっぱり北上だよね

世界中のどこよりも、あなたにいちばん愛されるまちでありたい。
世界中の誰よりも、このまちで暮らすあなたと未来を歩みたい。
いつまでも誇れる北上のために、
もっとふるさとに溶け込もう、飛び込もう。
一人ひとりの北上愛が、自慢のまちをつくる力になるから。

もっと北上市を知りたい方はこちら

▶きたかみリズム kitakami-rhythm.jp



北上の
素晴らしい食材を
多くのお客様に
お届けしたい。



宿場町として栄えてきた歴史を背景に、
このまちで育まれた多様性を表現した「北上コロッケ」。
若き料理人たちの故郷に込めた思いが、新しい名物を生み出しました。

枕流亭は明治32年創業、私で5代目になります。北上は南部藩と伊達藩のちょうど境目。様々な人や物資が行き来する宿場町として、かつては舟運も盛んでした。そのため初代は川沿いに店を構えたのですが、鉄道の開通に伴って賑わいは街場に移り、この辺りは北上の奥座敷に。しかし、時代の流れとともに料亭も少なくなり、うちの店の形態も料理も昔とは随分変わりました。

北上は飲食店に活気があると言われますが、宿場町の時代から旅人を受け入れ、もてなす文化がベースになつたんです。

あるように思います。工業団地も多いため、今でも外からいろいろな人が訪れますし、最近は桜を見に来る外国人もかなり増えました。

でも、これだけ多くの人が訪れる場所でありながら、北上には名物と言えるものがずっとなかったんです。ここには米も野菜もあるし、果物も和牛もある。その上、新しいものが入ってくると面白がって取り入れる。この多様性が、北上コロッケの開発につながるキーワードになつたんです。

まちの想いをコロッケに込めて

北上コロッケは、北上市調理師会青年部の有志で開発を手がけました。改めて北上らしさを考えたのですが、多様な人々を受け入れ、それをうまく融合して一つの街を形づくっていることに注目したんです。だったら、いろいろな食材を入れて、その相乗効果で美味しいなるメニューを作ろう。こうして、二子さといも、黒毛和牛、白ゆりポーク、アスパラガスと、4つの特産品を入れた北上コロッケが生まれました。

ルールは、材料だけ一緒に味付けは自由。それぞれの店の個性を打ち出して、市内を食べ歩きできるようにしたんです。これが好評で徐々に注目を集めようになりましたが、大きかったのはB-1グランプリに出展できしたこと。我々の自信になりましたし、堂々と「北上の名物です」と言えるようになったんです。

この開発がきっかけで、農家の人たちとの交流も生まれました。農家さんの想いやこだわりを知り、改めて食材の素晴らしさを見直し、互いに相談し合える関係も築きました。今振り返ると、北上の名物づくりは、故郷を見つめ直す良いきっかけだったと思うんです。農業をはじめ、この街にはいいものがいっぱいある。でもそのポテンシャルの高さを、生かしきれていないだけなんです。これから来るインバウンドの波を、まちづくりにいかにつなげ、魅力を発信していくのか。私たちの腕の見せ所だと思っています。



B-1グランプリを始め、様々なイベントで引っ張りだこの「北上コロッケ」は、すっかり北上の名物として定着。「商品開発はとても大変ですが、第2弾の名物づくりにも取り組みたいですね」と意欲を燃やしています。



老舗料亭の息子として、小さい頃から人の流れを見てきた岡島さんは、「北上のベースは農業」と言います。移り変わりの早い工業とは違い、農業は生きるために必要とされるもの。「農業が元気だと活気が違いますよ」と岡島さん。

北上の
イト!

何かと便利で
人があったかい

新幹線も高速道もすぐ近くにあるし、車で30分も走れば飛行機にも乗れます。今の時代、どこにいても情報は手に入るし、スピード感を持って移動できるかどうかがポイント。その点、ここは便利なまちで、人もあったかい。気軽に来て北上の魅力を見つけてほしいですね。



歴史案内人

REKISHI ANNAI BITO



伝統を受け継ぐ鬼と
最先端の工業、
両方が共存するなんて
面白いですよね。

あいはら あやこ
相原彩子さん

北上市立鬼の館 主任学芸員



相原さんが学芸員として働く「鬼の館」には、世界各国から個性豊かな鬼が集められています。ちなみに鬼剣舞の「白面」を着けられるのは、演目の中で一人だけ。鬼剣舞を踊る人たちにとってあこがれの面だそうです。

「鬼剣舞」に象徴されるように、「鬼」は北上の魅力を伝えるキーワード。

北上市の鬼剣舞発祥の地にある「鬼の館」には、鬼にまつわるモノやコトがいっぱい。なぜ、北上には鬼が受け継がれているのか。その不思議を解き明かします。

北上市は民俗芸能がとても盛んな地域で、その代表格が鬼剣舞です。その起源は古く、中世の「念仏踊り」をもとにしながら、現在のような踊りの形が出来上がっていましたと伝えられています。市内には多くの踊り組がありますが、源流とされるのが「北上市立鬼の館」がある和賀町岩崎地区の岩崎鬼剣舞。ここを起点として市内に広がり、現在は岩崎系と滑田(なめしだ)系の2系統およそ13組が伝承されています。

私は川岸地区の出身ですが、小さい頃から当たり前のように鬼剣舞を見て育ちました。幼稚園や保育園の頃から教える地域もありますし、小学生になって

本格的に鬼剣舞を習って極めていく子どもたちもいます。一時期、戦争や後継者不足から伝承が難しい時代もありましたが、住民が一丸となって守ってきた地域が多いんです。

それほど鬼剣舞は私たちにとって、地域の絆をつなぐ象徴であり、精神的な拠り所。北上市民憲章の中にも「あの高嶺／鬼すむ誇り」という一節があるので、鬼は仮の化身であり、憧れであり、とても身近な存在です。鬼の館ができたのも、鬼剣舞に拠る所が大きく、鬼をめぐる様々な事柄を集め、紹介しています。



「鬼の館には家族連れが多いのですが、3、4歳の幼い子どもでも何かを感じ取り、泣いて入れない子もいるんですよ」と相原さん。鬼は人間の本能を揺さぶる不思議な力を持っていると言います。

伝統と新しさが共存する面白さ

鬼というと悪いもの、忌むものと捉える向きがありますが、鬼の館には、心優しい鬼やひょうきんな鬼、厄から守ってくれる鬼など、個性豊かな鬼がいっぱいいます。一つの側面だけでなく、鬼の多様性を知ることは、子どもたちの物事の見方を広げてくれます。でもその一方では、やはり人知を超えた恐ろしい存在でもあって、そうした恐れ多いものがこの世にいることを感じるのは大事なことだと思います。

面白いことに北上は、新しいものを受け入れる土地柄でもあるんですが、民俗芸能のような伝統文化も大切にしている。特に鬼なんて、科学では証明できない異次元のものじゃないですか。新しさと伝統、最

先端と未知なるものの両極を受け入れて共存できるところが、この街の魅力じゃないかと思います。それは、多様な文化を融合しながら、新しいものを育める可能性にもつながるんじゃないでしょうか。

鬼の館は、怖い鬼から愛すべき鬼まで、様々な鬼に出会える数少ない場所です。心の奥底に潜む鬼との対峙は、忘れかけていたものを呼び覚ましてくれるものであり、時代を超えて残しておきたい大切なものの。この場所に来るたびに、心に引っかかる何かを思い出してくれたら嬉しいですし、鬼剣舞からもたくさんエネルギーをもらってほしいですね。

北上の
イトコ!

私を支えてくれる土台のようなまち

北上は優しい人ばかりで、自分のことのように鬼の館を応援してくれる人が多いんです。離れたいと思った時もありましたが、ここは離れがたい魅力がたくさんあるまち。根っこのように私を支えてくれる場所です。

北上の大好きな場所や
郷土芸能の素晴らしさを
おすそ分けしたいんです。



高橋忠男
さん
たかはし
ただお
さん
北上タクシードライバー
滑田鬼剣舞保存会会長



誰よりも街のことを知っているのは、地元のタクシードライバー。
観光名所、とておきの穴場、美味しい料理、郷土芸能など、
ドライバーの視点から、北上の魅力をたっぷり紹介します。

北上タクシーに勤めてから24年が経ちますが、観光にいらっしゃる多くのお客様をご案内してきました。案内する際の目安として大まかな行程表はあるのですが、ガイドブックにはない楽しみ方も提案したくて、自分なりに観光地のことを勉強して案内するようにしています。

北上市内で人気なのは、北上の街並みや奥羽山脈が見渡せる国見山の「極楽寺(国見山廃寺跡)」や、国指定重要文化財の木造毘沙門天立像を祀った「立花毘沙門堂」。どちらも国見山一帯に栄えた古代の仏教文化の名残を感じられる名所です。ユニークな所では、全国

でも珍しい様々な鬼を展示した「鬼の館」も観光客に人気のスポットですね。

桜の時期は展勝地に行きたいというお客様が多いのですが、個人的な穴場である和賀川の桜並木にお連れすることもあります。3キロほど桜並木が続いて、なかなか見応えがありますよ。他にも、夏油温泉や瀬美温泉など、野趣あふれる露天風呂が多いのも魅力の一つ。食べ物では、山菜やきのこ、川魚といった自然のものや、前沢牛に匹敵するきたかみ牛もすごく美味しい。おすすめはいっぱいありますが、お客様の要望に合わせて、臨機応変にベストな場所へ案内していますね。

郷土芸能は北上の魅力であり誇り

北上は名所もいろいろありますが、一番の魅力は郷土芸能じゃないでしょうか。神楽、鹿踊、鬼剣舞など、北上には郷土芸能の団体が300以上もあって、とても盛ん。南部藩と伊達藩の境目であることから、両方の文化や郷土芸能を受け入れて、県内一と言われるほど発展したんだと思います。私自身、若い頃から鬼剣舞に携わっていることもあります。夏の北上・みちのく芸能まつりのことや平日でも郷土芸能のステージが見られる居酒屋の話を聞いて、お勧めするようにしていますね。

北上のもう一つの魅力は、飲み屋が多いこと。私が運転手になりたての頃は、800軒以上も飲み屋があって、とても賑やかでした。今は減ってしまったけど、タクシー運転手はそれぞれ行きつけの店を持っていますので、お勧めの店を聞くと希望に合わせて案内してくれるはず。やっぱり地元の人間が、美味しい店を知っていますからね。

タクシー運転手として心がけているのは、お客様の満足を最優先すること。単なるドライバーではなく、旅のコーディネーターとして北上のいいものをたくさん紹介して、「北上に来てよかった」と喜んでもらえるように努力しています。特に出張や観光で来られるお客様には、我々が最初に出会う北上の人間。良い印象とたくさんの思い出を持って帰ってもらいたいですから。



タクシーでお客様を案内する時も、必ず伝えているのが鬼剣舞や神楽といった郷土芸能の素晴らしさ。滑田鬼剣舞保存会の会長を務める高橋さんは、40年以上も子ども達の指導に携わり、鬼剣舞の未来の担い手を育てています。

北上の
イト!

若者を受け入れ
応援してくれるまち

私は奥州市出身で、結婚を機に移住したのですが、北上はヨソからきた若者を快く受け入れてくれるまち。積極的に地域に関わる気持ちがあれば、新たな挑戦をみんなでバックアップしてくれます。



あらゆる場所を案内し、北上を知り尽くしている高橋さん。北上巡りの理想的なコース尋ねると、「夏油高原に行って、温泉に入れて、夜は居酒屋鬼剣舞で郷土芸能のステージを見せて、締めは冷麺だね」と話してくれました。

魅力案内人

MIRYOKU ANNAI BITO



当たり前の日常の中に
北上の魅力が
いっぱい詰まっ
ていると思いま
す。

いわした よしこ
岩下佳子さん
Yoppi食堂 店主（左）

おばら れいな
小原伶奈さん
居酒屋 Reppi 店主（右）



二人のお店があるのは、北上
市の繁華街・青柳町。「Reppi」
の小原さんは、地物にこだわつ
た料理を出すため、直接農家
を訪れて仕入れることも多い
とか。「新たなことに挑戦する
若い農家さんが増えて嬉しい
です」と話します。

都会暮らしを経て北上に戻ってきた、岩下さんと小原さん。

若い頃は嫌いだった田舎の風景や人間関係も、今は違う見方ができるよう。二人が気付いた北上の魅力は、ごく普通の日常の中にありました。

私たちは二人とも、一度北上を離れて戻ってきたUターン組。学生時代は、人間関係の狭さに息苦しさを感じたり、田舎の風景をつまらなく感じて、「早くこの街から出たい」と思っていました。都会での生活はそれなりに充実していて、楽しいことばかりでしたが、「いつかは北上に戻りたい」という思いは心の片隅にずっとあった気がします。

岩下は24歳の時に仙台から、小原は震災を機に25歳の時に東京からUターン。昨年から同じ店を時間帯で分けて、昼は「Yoppi（よっぴ）食堂」として岩下が担当し、夜は全国の日本酒と地元食材が楽しめ

る「Reppi（レッピ）」として小原が担当しています。

私たちの店は営業スタイルが異なるため、来店されるお客様もそれぞれ。「Yoppi」はキッズスペースを設けているので、子連れのママたちやリーズナブルにランチを食べたい市内のサラリーマンが中心。「Reppi」は40代以上が多く、地元の美味しいものが食べられるとあって、市外や県外から訪れるお客様も結構います。こだわりの日本酒を揃えているので、ここをきっかけに日本酒好きになってくれたら嬉しいですね。



昼のランチを担当する「Yoppi」の岩下さんは、「お腹いっぱい食べてほしい」とリーズナブルにランチを提供。他にも、懐かしのナポリタンや、こだわりのカレーライスも人気メニューです。



一番大切なものを故郷で再発見

帰ってきて変わったのは、以前は気づかなかった北上の豊かさに気づけるようになったこと。例えば、食材にしても、北上はとても贅沢な場所。きたかみ牛といった高級食材や定番の野菜はもちろん、カラフルな人参や大根など、新しい種類の野菜にチャレンジする農家さんが増えていて、新鮮で豊富な食材が手に入る環境が整っています。

若い頃は煩わしかった人間関係も、今では一番大切なものになりました。困っていると手を貸してくれたり、応援してくれる人が本当に多くて、北上の人への優しさやご縁に随分助けられていますね。

それは子育ての面でも同じで、親や友達、知り合いがすぐ近くにいて、頼れる人がたくさんいるという

のが何より心強い。保育園や親子で遊べる場所も増えている、子育てを手厚くバックアップしてくれる環境も、北上の魅力ではないでしょうか。

地元にいると当たり前過ぎて気づかないのですが、外から来る人の目を通して再認識する良さもいろいろあります。東京から友人が来ると、雪が降っているだけで感動するし、風景を見るだけで「山だ!田んぼだ!」と喜んでいる。温泉や風光明媚な場所もいいけれど、何気ない日常の風景の中に素敵なものっていっぱいあるのかもしれません。だから県外からのお客様にはこう話しています。「ただ街を歩いてみてください」って。

北上の
イトコ!

岩下さん:田舎過ぎず、都会過ぎず、街のサイズ感もちょうどいいし、人との距離もちょうどいい。私にとっては「安心して暮らせる街」です。
小原さん:この街があるから好きなこともできるし、どこに行っても帰ってこられるホームグランド。「私の心の安定剤」、それが北上です。

遊び案内人

ASOBI ANNAI BITO



素晴らしい大自然の中で、
夢を育てていけるって
楽しいじゃないですか。

茨城県から家族で移住して、一人きりでキャンプ場を作り上げた日角さん。

長年、あちこちのキャンプ場を回り、運命的に出会った夏油高原は、
豊かな大自然と素晴らしい条件が揃った唯一の場所でした。

子どもの頃に見たアニメ「トム・ソーヤの冒険」に憧れ、キャンプやアウトドアが大好きな私には、「40歳になったらキャンプ場のオーナーになる」という夢がありました。以前は茨城県に住んでいたんですが、週末になると家族を連れてキャンプをするのが恒例で。いつしか「自分ならどんなキャンプ場を作るか、どんな場所がいいか」という目線で、キャンプ場を眺めるようになりました。

ここ北上は、妻の故郷。帰省するたびに東北のキャンプ場に足を運んで場所を探していたんですが、たまた

ま訪れた夏油高原でこの土地に出会ったんです。四季がはっきりしていて、温泉があり、川があり、近くには滝もあって、夏には蛍が飛ぶ。私の理想とする条件が全て揃っていました。

2010年に北上に移住し、一人でキャンプ場づくりをスタート。リフォーム会社で働いていた経験から土木や建築の仕事をできましたので、山を切り開きながら、1年4ヶ月ほどかけて念願のキャンプ場「ベアーベル」をオープンしました。手作りのキャンプ場ですが、東北はもちろん関東方面からもキャンパーが来るんですよ。

北上は夢を見続けられる場所

ここは本当に自然が豊かな場所です。春には山桜が咲き、夏には川に蛍が飛び、秋は紅葉が楽しめるし、冬は一面の銀世界。昨年から冬キャンプも始め、岩手県初の通年営業を実現したんですが、毎週末キャンパーが訪れ、雪の中で過ごす時間を楽しんでくれました。

うちのお客様は県外の方も多いので、春だったら展示地、あとは夏油温泉や瀬美温泉、ユニークなところでは「スーパーオセン」をお勧めしています。だって軍艦マーチが鳴り響き、あんな安値で売る店なんて他にないでしょ?みんな面白がって買い物に行きますよ。

北上のいいところは、私のようなヨソモノも快く歓迎してくれるオープンな気質です。そして何よりもいいのは、未完成なまちであること。足りないものがあるということは、それだけ新しいことに挑戦できる余地があるということでしょう。

うちのベアーベルだって、まだまだ進行形です。今年はカフェを始めますし、2~3年後にはでっかいログハウスを建てる予定。将来的にはフリーサイトとして使っている場所に、陶芸や木工、手芸ができるアトリエを作るのが私の夢なんです。材料も買うんじゃなくて、綿花から栽培して、丁寧に糸を紡いで、大事に使い続けられる本物を作る。その体験を通して今までとは違う考え方や生き方に出会える、そんな場所にしていけたら嬉しいですね。

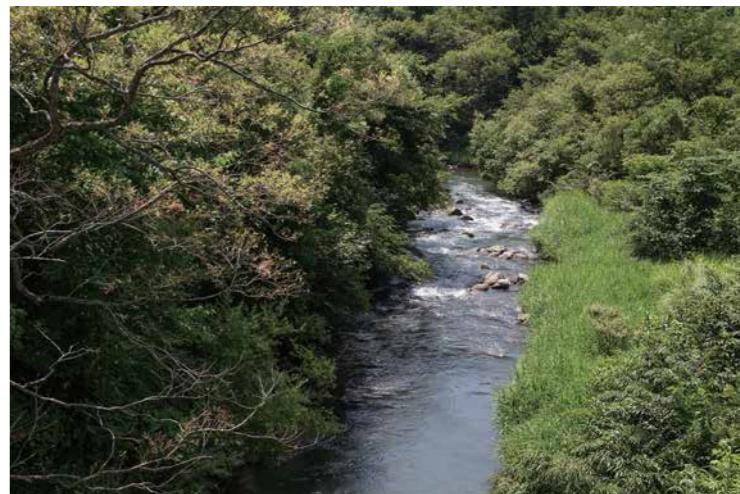


「ベアーベル」の設備は、看板からトイレまですべて日角さんの手作り。水回りに温泉水を使っているため、冬でも凍らずとても快適。温泉水は鉄分が多く、お米を研いでバスタを茹でても美味しいそうです。

北上の
イト!

夢を広げられる
可能性がある

足りないところがたくさんあることが、最大の魅力だと思います。それだけ新しいことを開拓したり、チャレンジできるチャンスがいっぱいある。自分の可能性を広げられる街ですね。



「ベアーベル」の周囲は、見渡す限り360度の大自然。四季折々の自然の表情は素晴らしい、蛍の飛び交う川は特に気に入りとか。家族連れはもちろん、ソロキャンパーも多く、大自然の中でゆっくり時間を過ごすと言います。

MY BEST KITAKAMI



本誌に登場してもらった案内人たちがオススメする、北上のおいしいものとスポットをご紹介。市民も知らないっておきの情報に出会えるかもしれません。



北上コロッケ

粘りが強くコクがある二子さといもや黒毛和牛、白ゆりポーク、アスパラガスなど、北上産の食材がたっぷり入ったコロッケです。ホクホク熱々で美味! B-1グランプリにも認証されたご当地名物です。

◆紹介人:岡島親吾さん



五郎がびっくり焼き

北上の銘菓と言えば、これ!北上の開祖「黒沢尻五郎正任」の名前にちなんだ、栄泉堂のお菓子。ゴマを練りこんだ小豆餡にくるみをたっぷりのせてるので、香ばしくて、お茶請けにぴったりです。

◆紹介人:高橋忠男さん

モンブラン

老舗菓子店「アンデルセン」のモンブランは、昔から愛されている北上のロングセラー。たっぷり栗のがつたモンブランやメロンのショートケーキは、小さい頃から食べている懐かしの味です。

◆紹介人:岩下佳子さん

ほんとうは内緒にしたい!
とつておきの味(おいしいものの編)

きたかみの
魅力を
知り尽くした

タクシー
運転手さんに
聞きました!

石井建一さん (和賀町岩崎)の アスパラガス

とても精力的に頑張っている若手農家、石井くんのアスパラガスは最高です。採れたての新鮮なものを畑で買える「畑で朝市」という直売もやっているので、ぜひ食べてみてください。

◆紹介人:日角孝治さん



味噌ラーメン

大通りの「みちのくラーメン」の味噌ラーメンは、私のお気に入り。昔から家族で食べに行っては、これをオーダーしていました。ニンニクの効いた味噌スープがとっても美味しいです。

◆紹介人:相原彩子さん



カレー南蛮そば

蕎麦好きな私の定番は、江釣子ショッピングセンター・バルの中にある「そば処小山」のカレー南蛮。昔のカレー粉を使ったような懐かしい味で、ビリッとした辛さが癖になります。

◆紹介人:高橋忠男さん



二八蕎麦と海老天

「北上美濃里庵・咲々良(さらら)」の蕎麦は、その日使う分だけ自家製粉したこだわりの蕎麦。サクサクの海老天と粗挽きの蕎麦、お気に入りの日本酒。休日の最高の組み合わせです。

◆紹介人:小原伶奈さん



珊瑚橋

枕流亭のそばにある珊瑚橋は、私の一番大好きな橋。ドイツ人技師が設計し、昭和8年に現在のようなゲルバー橋に架け替えられたそうです。橋のクリーム色と青空、白い雲の組み合わせがたまりません!

◆紹介人:岡島親吾さん



和賀川ふれあい広場

河川敷にある広い公園で、いろんな遊具もあるので子どもを連れてよく遊びに行きます。子供会でキャンプをしたり、バーベキューをしたり、思い思いに楽しめる場所ですね。

◆紹介人:岩下佳子さん



みちのく民俗村

自然の中に古民家や歴史的建造物が点在する、野外博物館です。木々の緑が気持ちいいですし、街の喧騒から離れる静かな場所。一人で考え事をしたい時や気分転換によいきます。

◆紹介人:相原彩子さん



元湯夏油

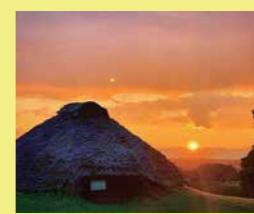
夏油温泉の中心的存在の「元湯夏油」は、全体の自然景観が素晴らしい、野趣あふれる露天風呂が5つもあります。うちのキャンプ場に来るお客様にもオススメしています。

◆紹介人:日角孝治さん



男山

頂上近くまで登ると、北上川と和賀川が合流する壮大な景色を楽しむことができます。



樺山遺跡

配石遺構と呼ばれる石組みのモニュメントが有名。史跡公園として市民の憩いの場。



郷土芸能居酒屋 鬼剣舞

「鬼剣舞」を楽しめるショーもあり、ご飯4合分の「鬼の目玉」というおにぎりが名物です。



ステーキ & ピストロ 小春日和

厳選した極上の肉を目の前で焼いてもらえる鉄板焼きの店。隠れ家的な空間が人気です。



和食ながい

住宅街にある和食居酒屋。日本料理店で修行した店主が作る、素材を活かした料理が評判。



トロイカ

ロシア料理とチーズケーキの名店。濃厚でクリーミーなチーズケーキは絶品です。



古民家カフェ ほっこり

築130年以上の古民家を改装。ナポリタンやひつみなど、ホットができるメニューが並びます。ドライブイン店舗もあり。



Cafe Laube

名所から穴場まで
お勧めスポット編
お出かけスポット編

きたかみつてこんなまち

子育てしやすいまち

北上市内の保育施設の数
(2019年4月時点)

保育園 小規模・事業所内 保育事業所 認定こども園

16 施設 **19** 施設 **3** 施設

2021年3月新たな保健・子育て支援の拠点施設をオープン予定
(市内ツインモールプラザ西館内)

みどりに癒されるまち

北上市内の公園の数
都市公園

128 箇所

たくさん的人が訪れるまち

北上市の2018年観光客入込数

163 万人

北上市の人口のなんと
17倍以上

※東北の十字路

東西南北に鉄道と道路が交差し、交通の要所として栄えたまち北上。近年では高速交通体系も整備され、東北の十字路として交通の利便性はますます高まっています。

※北上市の歴史

北上川に和賀川が合流する北上市は、多くの遺跡や歴史的にも価値あるものが発見されています。2つの川がつくった広い平野と河岸段丘が、人が住むのに適していたので、古来から多くの人々でにぎわい、物資の往来も盛んでした。そのためか、新しいものを積極的に受け入れる「開かれたまち」として知られ、また、そうした気風をまちの発展の原動力にしてきました。

文化と伝統を感じるまち

鬼剣舞の始まりは

1300 年前



市の木
サクラ

市の花
シラユリ

市の鳥
キセキレイ

働きやすいまち

北上市内の働く場所と働く人の数

事業所数 **4,309** 事業所
県内 **4** 位

従業者数 **48,317** 人
県内 **2** 位

出典: 総務省・経済産業省
「経済センサス活動調査」



製品出荷額等 **3,643** 億円
県内 **2** 位

卸売・小売業の年間商品販売額 **2,154** 億円
県内 **3** 位

飲食店数(2016年) **541** 事業所
県内 **3** 位

出典: 経済産業省「工業統計調査」
岩手県調査統計課「平成26年商業統計調査」
総務省統計局「統計でみる市区町村のすがた2019」



コンパクトなまちの 中にある豊かさ

豊かな自然の中に、都市と田舎が隣り合せ。
便利な環境がコンパクトにまとまった北上市。
それは、仕事も暮らしも心地よく楽しめるサイズ感。
自分らしいスタイルを実現できるまちが、ここにあります。



北上市からの アクセス

*所要時間は最速の場合です。
(2019年10月時点)

**KITAKAMI
MAP**



●飛行機	JAL 55分 (新千歳空港)
●飛行機	FDA 約1時間15分 (名古屋小牧空港)
●飛行機	JAL 約1時間30分 (大阪伊丹空港)
●飛行機	JAL 約2時間5分 (福岡空港)
●鉄道	東北新幹線 2時間17分 (東京駅)
●鉄道	東北新幹線 40分 (仙台駅)
●鉄道	東北本線 30分 (平泉駅)
●鉄道	東北本線 43分 (盛岡駅)
●鉄道	東北本線 9分 (花巻駅)
●鉄道	東北本線 9分 (花巻駅) — 釜石線 49分 (遠野駅)
●鉄道	北上線 42分 (ほっとゆだ駅)
●自動車	132.3km 約1時間30分 (仙台宮城IC) — 332.4km 約3時間30分 (川口JCT)
●自動車	47.4km 約30分 (盛岡IC)
●自動車	116.6km 約1時間35分 (秋田中央IC)
●自動車	32.9km 約20分 (平泉前沢IC)